

酬恩庵 本堂

本堂は、1429 年から 1441 年の間に建てられ、重要文化財に指定されています。当時の将軍の帰依により建立されたと考えられています。山城・大和地方（京都府から奈良県にかけての南部地域）の唐様建築の中で、もっとも古い建造物です。唐様は、切妻と桧皮で覆われた屋根に一番の違いがあります。本堂内部には、酬恩庵一休寺の本尊、木製仏像「釈迦如来坐像」があります。釈迦如来は、仏陀、ガウタマ・シッダールタ、仏教の開祖として知られています。